



童子山だより

学校教育目標

「夢に向かって、主体的に学び、
心豊かでたくましく生きる児童の育成」

目指す子供像 【かしこく】○「い」いつも まなぼうとする子
【たくましく】○「り」りりしく たくましい子
【やさしく】○「や」やさしく たすけあう子

令和5年2月27日
文責：教頭 No.13
Tel 46-2655
Fax 46-2654



学校HPはこちらから

卒業・進級に向けて…もう一踏ん張り！

早いもので、もう卒業・進級の時期となりました。

3月は1年間の締めくくりであり、まとめの月です。6年生は、卒業に向けて最後のまとめと、卒業式の練習に一生懸命取り組んでいます。また、1年生から5年生は、学年のまとめと、次の学年へ進級するための準備をしているところです。これまで子供たちは、保護者や地域の皆様に支えられながら成長してきました。そのことに応えるためにも、次へのステップアップができるよう、しっかりとしたまとめをさせていきたいと考えております。



さて、3月1日は、入谷小学校の創立記念日です。また、今年が創立から150年の節目の年でもあります。入谷小学校は、明治6年(1873年)に万福院を借りて開校したのが始まりです。その後、児童数の増加に伴い、大船分教場と林際分教場が設置されました。大正時代になると、林際分教場が林際小学校となり、入谷地区に2校の小学校が誕生しました。大正7年の林際小学校の全校児童数は54名、大正5年の入谷小学校の児童数は245名でした。令和4年度の志津川小学校の児童数は152名なので、当時の入谷小学校は、今の志津川小学校より93名も多い学校でした。

創立以来、一番児童数が多かったのが昭和40年で、林際小学校が174名、入谷小学校が281名で、入谷全体では465名でした。その後、年々減少し、平成11年度林際小学校と統合した時の児童数は124名でした。令和4年度は、児童数54名とピーク時よりも400名以上も減少しました。なお、令和5年度の新入予定児童数は5名で、本年度より3名減の51名でスタートする予定です。

児童数は減りましたが、150年続く入谷小学校には、先輩たちが創り受け継いできた、歴史と伝統があり、更に豊かな自然・地域色豊かな産業・入谷独自の文化があります。それらをしっかりと学び、この地域の担い手としてしっかり育ててほしいと思います。

残りわずかとなりましたが、子供たち一人一人が「この学校、この学級で過ごせてよかった。」という思を持ち、卒業・進級ができるよう支援していきます。

<お願い>

未だ新型コロナウイルス感染症拡大が続いております。引き続き感染予防に努めながら、生活してほしいと思います。

- 1 感染予防への御協力(マスクの着用、こまめな手洗い、手指消毒、3密の回避等)
- 2 朝の健康チェックをお願いします。
※ 健康チェックの報告ができない場合は、7時35分までに電話で報告をお願いいたします。
- 3 緊急時等の連絡(陽性者もしくは濃厚接触者になった場合)
・学校(46-2655)・教頭(090-7794-4584)

< 3月の行事予定 >

日	曜	学 校 行 事 等	日	曜	学 校 行 事 等
1	水	集団登校日, 委員会⑩, ALT 来校日	17	金	卒業式, (3校時限, 1~3年臨時休業日), ALT 来校日
2	木	フッ化物洗口実施日	18	土	
3	金	6年生を送る会, 体育館大掃除	19	日	
4	土		20	月	弁当日
5	日		21	火	春分の日
6	月	SSW 来校日	22	水	ALT 弁当日
7	火		23	木	フッ化物洗口実施日, 弁当日
8	水	代表委⑧, ALT 来校日	24	金	修了式, 3校時限
9	木	大掃除	25	土	学年末休業日
10	金	朝会 (鎮魂の日の話), SC 来校日	26	日	
11	土	みやぎ鎮魂の日	27	月	志中一日入学
12	日		28	火	離任式, ALT 来校日
13	月	6年少年消防クラブ修了式 (2校時), 卒業式全体練習 (4, 5, 6, 年)	29	水	
14	火	ALT 来校日, 卒業式全体練習 (4, 5, 6, 年)	30	木	
15	水	集団登校日, ALT 来校日, 卒業式予行 (4, 5, 6, 年)	31	金	
16	木	フッ化物洗口実施日			

< 4年生: 繭細工作り >

2月22日(水)に, 親子で繭細工作りをしました。講師に, シルクレディースの3名の方をお招きして, 様々な色に染めた繭玉を使い, 動物のマスコットやコサージュを作っていました。



< コミュニティ・スクールの活動紹介 >

2月9日(木)に第3回学校運営協議会が行われました。

学校運営協議会委員の皆様を始め, 町教委や近隣校の教員が参加し, 学校全体の取組や諸活動, そして保護者や児童のアンケートの振り返りを行い, 御意見を頂戴しました。

情報交換の際には, 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で来校が難しかったが, もっと学校に来て運営の様子を見たいという御意見や, 打囃子の道具を新しくする手筈についての話題が出ました。また, 童子山に登ることなども意見として出され, 地域が一丸となって子供たちを育てる中で, 地域を活性化させることが大切であると確認し合いました。

今年度, 運営協議会委員をお勤めいただいた皆様に, 心から御礼申し上げます。



【学校を大切に】「教員は文化人たれ」とお励ましくくださった阿部國博会長



【「地域が一丸となって子供たちの成長を支えましょう」と菅原文雄副会長】